

2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年7月30日

上場会社名 株式会社日本エム・ディ・エム 上場取引所 東
コード番号 7600 URL <https://www.jmdm.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弘中 俊行
問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 棟近 信司 (TEL) 03-3341-6705
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,052	12.0	366	5.7	367	9.0	273	54.3
2024年3月期第1四半期	5,402	7.5	346	△30.5	337	△30.2	177	△47.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,199百万円(△0.8%) 2024年3月期第1四半期 1,209百万円(△20.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	10.39	—
2024年3月期第1四半期	6.74	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	31,960	26,432	82.4
2024年3月期	31,485	25,603	81.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 26,323百万円 2024年3月期 25,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,850	8.2	550	△11.0	550	△13.1	400	11.2	15.20
通期	25,200	8.7	1,850	5.9	1,850	0.4	1,300	2.2	49.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	26,475,880株	2024年3月期	26,475,880株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	141,346株	2024年3月期	141,318株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	26,334,548株	2024年3月期1Q	26,300,759株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
3. その他	10
販売実績	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は6,052百万円（前年同四半期比650百万円増、同12.0%増）、営業利益366百万円（前年同四半期比19百万円増、同5.7%増）、経常利益367百万円（前年同四半期比30百万円増、同9.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益273百万円（前年同四半期比96百万円増、同54.3%増）となりました。なお、連結売上高に占める自社製品売上高の割合は81.2%（前年同四半期は80.1%）でした。

日本国内売上高は、前年同四半期比128百万円増、同4.2%増の3,184百万円となりました（「収益認識に関する会計基準」の適用による販売促進費の一部控除後）。米国の外部顧客への売上高は、前年同四半期比1,328千USドル増、同7.8%増の18,324千USドルとなり、円換算後は円安の影響により前年同四半期比521百万円増、同22.2%増の2,868百万円となりました（前年同四半期の米国売上高の換算レートは1USドル138.11円、当第1四半期は同156.55円）。

製品セグメント別の売上高は以下のとおりです。

日本国内の人工関節分野では、人工骨頭挿入術（BHA）において、ハイドロキシアパタイト（HA）コーティング加工を施した人工股関節製品「Entrada Hip Stem」や新製品「Promontory Hip Stem」などの獲得症例数が増加し、BHA全体の売上が増加しました。一方、人工股関節置換術（THA）の獲得症例数は減少したため、THA全体の売上は減少しました。また、人工膝関節置換術（TKA）の獲得症例数も減少し、TKA全体の売上は僅かに減少しました。その結果、本分野の日本国内売上高は1,198百万円（前年同四半期比2.3%増）となりました。

米国の人工関節分野では、顧客基盤の拡大に伴い、人工膝関節製品「BKS TriMax」「BKS Revision Knee」などの人工膝関節置換術（TKA）の獲得症例数が増加し、売上が二桁成長と好調に推移しました。また、人工股関節製品「Alpine Hip Stem」「Entrada Hip Stem」の獲得症例数も増加し、売上が増加に転じました。その結果、本分野の米国売上高は18,288千USドル（前年同四半期比8.0%増）となり、円換算後では円安の影響により2,863百万円（前年同四半期比22.4%増）となりました。

骨接合材料分野では、大腿骨頸部骨折の治療材料「Prima Hip Screw」の獲得症例数が増加し、引き続き二桁成長と順調に推移しました。その結果、日本国内の売上高は1,079百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

脊椎固定器具分野では、「KMC Kyphoplastyシステム」「Vusion Ti3D ARCケージ」「Lince Plate」などの獲得症例数が増加し、日本国内の売上が増加しました。特に「KMC Kyphoplastyシステム」は、Balloon Kyphoplasty市場の拡大により獲得症例数が増加しました。これらの要因により、本分野の日本国内及び米国の売上高合計は874百万円（前年同四半期比6.5%増）となりました。

売上原価はインフレ及び円安に伴う調達コストの上昇により増加しました。さらに、売上比では日本国内における償還価格引下げの影響などにより、売上原価率は36.5%（前年同四半期は35.4%）となりました。販売費及び一般管理費は、米国の売上増加に伴う支払手数料（コミッション・ロイヤリティ）、研究開発費、賃上げによる人件費が増加しました。また、円安の影響により米国の費用が円換算ベースで増加しましたが、経費を抑制した結果、全体で3,475百万円（前年同四半期比10.6%増）となり、売上高販管費率は57.4%（前年同四半期は58.2%）となりました。

営業利益は、売上高の増加が売上原価率の上昇及び販売費及び一般管理費の増加を吸収した結果、366百万円（前年同四半期比5.7%増）となりました。

経常利益は、為替差益23百万円など営業外収益を27百万円計上し、支払利息9百万円、中国における合弁会社 Changzhou Waston Ortho Medical Appliance Co., Limitedの持分法適用による投資損失8百万円など営業外費用を25百万円計上した結果、367百万円（前年同四半期比9.0%増）となりました。

特別損益として、医療工具などの固定資産除却損10百万円を特別損失に計上しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記の結果、273百万円（前年同四半期比54.3%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①日本

売上高は3,184百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益は156百万円（前年同四半期比33.6%減）となりました。

②米国

売上高は3,753百万円（前年同四半期比17.9%増）、営業利益は193百万円（前年同四半期比252.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ474百万円増加し、31,960百万円となりました。主な増加は、原材料及び貯蔵品867百万円、商品及び製品143百万円、主な減少は、現金及び預金486百万円、受取手形、売掛金及び契約資産331百万円であります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比べ354百万円減少し、5,527百万円となりました。主な減少は、支払手形及び買掛金260百万円、賞与引当金187百万円、主な増加は、未払費用110百万円、短期借入金104百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ829百万円増加し、26,432百万円となりました。主な増加は、為替換算調整勘定825百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期における連結業績予想につきましては、2024年4月30日公表の業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,321,552	1,835,085
受取手形、売掛金及び契約資産	5,915,467	5,583,881
商品及び製品	10,259,039	10,402,830
仕掛品	919,068	837,743
原材料及び貯蔵品	1,914,371	2,782,106
その他	257,347	409,775
貸倒引当金	△3,966	△5,656
流動資産合計	21,582,880	21,845,766
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	876,633	896,277
機械装置及び運搬具（純額）	354,459	355,847
工具、器具及び備品（純額）	4,935,249	5,016,048
土地	1,960,584	1,963,029
その他	193,692	325,073
有形固定資産合計	8,320,618	8,556,275
無形固定資産	219,262	208,752
投資その他の資産		
関係会社出資金	157,654	188,805
繰延税金資産	1,136,171	1,093,174
その他	69,272	67,851
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	1,363,097	1,349,830
固定資産合計	9,902,978	10,114,858
資産合計	31,485,859	31,960,625

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,403,276	1,143,025
短期借入金	1,162,382	1,266,579
リース債務	37,600	40,010
未払法人税等	192,482	163,503
未払費用	551,182	662,025
未払金	235,050	209,300
賞与引当金	237,310	49,734
役員賞与引当金	27,252	7,569
その他	183,973	177,676
流動負債合計	4,030,510	3,719,424
固定負債		
長期借入金	259,820	195,506
リース債務	34,629	26,586
退職給付に係る負債	1,424,964	1,449,212
役員株式給付引当金	80,571	85,365
資産除去債務	31,560	31,668
長期預り金	20,000	20,000
固定負債合計	1,851,545	1,808,338
負債合計	5,882,056	5,527,763
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,001,929	3,001,929
資本剰余金	2,587,237	2,587,237
利益剰余金	16,583,962	16,487,062
自己株式	△165,556	△165,575
株主資本合計	22,007,572	21,910,653
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	47,015	125,427
為替換算調整勘定	3,614,304	4,440,298
退職給付に係る調整累計額	△157,570	△152,439
その他の包括利益累計額合計	3,503,749	4,413,286
非支配株主持分	92,480	108,922
純資産合計	25,603,802	26,432,862
負債純資産合計	31,485,859	31,960,625

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	5,402,640	6,052,877
売上原価	1,913,737	2,210,793
売上総利益	3,488,902	3,842,084
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	112,639	108,375
販売促進費	77,318	46,830
広告宣伝費	20,562	25,293
給料及び手当	963,882	1,014,283
退職給付費用	26,547	33,121
法定福利費	80,655	83,408
福利厚生費	71,780	84,325
貸倒引当金繰入額	△81	1,689
旅費及び交通費	78,757	80,379
減価償却費	330,961	363,110
租税公課	33,512	40,070
研究開発費	182,945	236,427
支払手数料	799,377	942,580
その他	363,653	415,904
販売費及び一般管理費合計	3,142,513	3,475,803
営業利益	346,388	366,281
営業外収益		
受取利息	25	48
為替差益	10,946	23,713
受取保険金	—	66
その他	6,911	3,371
営業外収益合計	17,883	27,200
営業外費用		
支払利息	5,121	9,511
持分法による投資損失	16,310	8,163
シンジケートローン手数料	2,086	2,500
その他	3,149	5,339
営業外費用合計	26,668	25,515
経常利益	337,603	367,966
特別損失		
固定資産除却損	9,410	10,856
和解関連費用	75,000	—
特別損失合計	84,410	10,856
税金等調整前四半期純利益	253,193	357,110
法人税、住民税及び事業税	66,751	69,771
法人税等調整額	6,743	6,275
法人税等合計	73,494	76,046
四半期純利益	179,698	281,063
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,427	7,520
親会社株主に帰属する四半期純利益	177,271	273,543

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	179,698	281,063
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	103,515	78,412
為替換算調整勘定	923,237	834,916
退職給付に係る調整額	2,882	5,130
その他の包括利益合計	1,029,635	918,458
四半期包括利益	1,209,333	1,199,522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,191,488	1,183,080
非支配株主に係る四半期包括利益	17,845	16,442

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,055,337	2,347,303	5,402,640	—	5,402,640
外部顧客への売上高	3,055,337	2,347,303	5,402,640	—	5,402,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	835,458	835,458	△835,458	—
計	3,055,337	3,182,762	6,238,099	△835,458	5,402,640
セグメント利益	236,134	54,818	290,953	55,434	346,388

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去55,434千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「日本」における顧客との契約から生じる収益は、「収益認識に関する会計基準」の適用により、販売促進費の一部を控除しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	3,184,194	2,868,683	6,052,877	—	6,052,877
外部顧客への売上高	3,184,194	2,868,683	6,052,877	—	6,052,877
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	885,198	885,198	△885,198	—
計	3,184,194	3,753,881	6,938,076	△885,198	6,052,877
セグメント利益	156,841	193,226	350,068	16,212	366,281

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去16,212千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「日本」における顧客との契約から生じる収益は、「収益認識に関する会計基準」の適用により、販売促進費の一部を控除しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	388,277千円	423,336千円

3. その他

販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称及び品目		当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	前年同四半期比
		金額(千円)	(%)
医療機器類	日本	3,184,194	104.2
	人工関節	1,198,156	102.3
	骨接合材料	1,079,492	104.0
	脊椎固定器具	868,954	106.9
	その他	92,143	100.2
	小計	3,238,746	104.0
	売上控除	△54,552	—
	米国	2,868,683	122.2
	人工関節	2,863,047	122.4
	脊椎固定器具	5,635	65.8
合計		6,052,877	112.0
		比率(%)	増減(%)
自社製品売上比率		81.2	1.1

(注) 1 セグメント間の取引については相殺消去しております。

2 日本の販売実績は、「収益認識に関する会計基準」を適用しているため、売上高から販売促進費の一部を控除しております。

3 日本における品目別販売実績は、合理的な売上控除按分ができないため、当該売上控除額を一括で表示しております。